



九条の会・いすみ市

会 報 第 24号
 行 日 2021年 7月 24日
 発 行 九条の会・いすみ市
 九条の会・いすみ市
 運営委員会

皆さんも是非参加してみませんか？！



「九条の会・いすみ市」では、コロナ禍の中、細心の注意を払いながら月一回のペースで学習会を続けています。

学術会議会員任命拒否、イージスアショア洋上配備、国民投票法、オスプレイの木更津配備等々、時々の情勢に合わせて学んでいます。

6月の学習会では、コロナの終息が見通せない今、「緊急事態条項を憲法に書き込むことは、極めて重く大切な課題」（菅首相）や「コロナのピンチをチャンスとして捉えるべきだ」（下村自民党政調会長）など危機に乗じた改憲の動きがありますが、東京などに出された「緊急事態宣言」と戦乱や大規模災害時などの緊急事態に政府へ権限を委ねたり、国会議員の任期を延長したりする「緊急事態条項」はまったく異なるもので、そもそも現憲法の下で出来る有効な対策をとらず東京五輪に固執して、検査体制の充実・ワクチンの確保・防疫のための法整備・十分な営業補償どれをとっても後手後手で、自らの怠慢、失策を棚に上げ憲法に責任を転嫁するものです。

今回に限らず、一票の格差問題の時も、公選法で解決出来るのに「是正するには改憲が必要」と事あるごとに出てくる改憲推進の動きに今後も注意することが肝要と確認しあいました。

雪江 勇

次の文書（別紙）は学習会でも確認しました。会報と併せてお読みください。 運営委員会

- ・改憲手続法改正案採択強行に抗議する 2021年6月12日 九条の会事務局
- ・衆議院総選挙における立憲野党共通政策の提言 2021年6月14日
 安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合

学習会の一部を紹介（6月）九条の会発行ブックレットから

『菅政権の成立と改憲問題の新局面』～改憲発議阻止のために～

前半部分＝『バイデン政権の成立と日米同盟の強化』

アメリカはバイデン新政権に変わったが、日本に対する様々な軍事的要求がトランプ政権を引き継ぐ形で押し付けられ、また、アジアにおける軍事的協力を執拗に求められている。

昨年12月7日、5回目の「アーミテージ報告」（アメリカの戦略国際問題研究所が作成する日米同盟に関する提言）が出されましたが、1～4次まで出された報告の求めに応じて、これまで日本政府は「特定秘密保護法」「憲法9条解釈変更の集団的自衛権閣議決定」「安保法＝戦争法」「共謀罪」など次々と悪法を通し、「憲法改正議論」求めました。
 自民党の発表した「憲法改正草案」の一番の狙いは憲法9条を骨抜きにするものです。

今国会では「土地利用規制法」「国民投票法」を成立させました。また「新ガイドライン（日米防衛協力指針）有事法の実行、防衛費の増額や武器輸出三原則の撤廃、「共同作戦司令センター」の設置、「原子力発電の継続」武器の共同開発、宇宙、サイバー・AI等ハイテク分野での協力などなど、日本政府がこのアーミテージ報告のメニューを忠実に実行し、アメリカの軍事力を補完する役割をインド太平洋における軍事戦略のひとつのパーツとして自衛隊を位置づけ「日本を守るために」「国民を守るために」を口実に「敵基地攻撃能力」導入。更に、第5次アーミテージ報告ではこれまでの単にアメリカの求めに応じるだけでなく、肩を並べて日米同盟の強化＝「指導統制」等＝を計っていくことが今後の課題として盛り込まれている。

米中の覇権争いに巻き込まれることのない外交努力こそ必要。米中戦争になれば両国に挟まれた、東南アジアの台湾～日本の島々が戦場となり、国民が犠牲になる。ASEAN（東南アジア諸国連合）などと協力して絶対に戦争を予防・回避することこそが日本が進むべき道。

阪倉 芳枝

どこの空にもオスプレイいらない！ なんと南房総一帯、いすみ市上空も飛行空域！！



陸上自衛隊木更津駐屯地に到着した輸送機オスプレイ
2021年7月10日、
千葉県木更津市で（隈崎稔樹撮影）東京新聞より転載

オスプレイは開発段階から墜落の危険性が
高いと言われ、重大事故が発覚している。

2016年12月、2017年8月、9月
墜落事故を起こしている。

欠陥機オスプレイは
すべて日本から撤去を！！

墜落
事故！

2021年6月の一ヶ月間に
これだけの問題が起きている。

- * 6月14日には山形空港（東根市）には事前連絡なくオスプレイが緊急着陸した。パイロットが通常と異なる兆候を察知し、事故を防ぐ「予備着陸だったことが分かった。
- * 6月16日米軍横田基地（東京都福生市など）で、配備されているオスプレイの部品がなくなっていたことが分かった。原因は分からないが、飛行中に落下した可能性もあるという。
- * 2016年12月沖縄県名護市安部の民家からわずか800メートル先の浅瀬でオスプレイ墜落。事故からわずか6日後に飛行を再開、その矢先にオーストラリア沖での事故が起きている。
- * 18年には伊計島の海岸にオスプレイが落とした重さ十三キロもある部品が漂着した。

学習会の予定（提案歓迎です）

場 所 大原文化センター
開催日 以下の土曜日
8月21日 9月25日 10月23日
時 間 AM 10:00～12:00
資料代 100円

- ・憲法条文など資料はお持ちください。
- ・九条の会ブックレットも使用します。



駐屯地に17機がそろったら
離着陸回数は1日15回、
年4500回！！

オスプレイが暫定配備された木更津市
防衛省から交付金！本年度1億円増額、
前年度から倍増、配備への見返り！！

2019年12月、木更津市長がオスプレイ受け入れを表明、防衛省と市は5年以内を目処に暫定配備合意！自衛隊木更津駐屯地2021年7月10日オスプレイ暫定配備！21年度末までに71機が配備予定、配備期間は2025年7月9日。

交付金で依存度が高まる懸念！

交付金に一度頼ると、市の財政や地域経済の依存度から抜け出せなくなるのが基地経済の怖さだと識者が指摘する。沖縄の歴史を見ても明らかだ。

首都圏の拠点化さらに！

- * 横田基地の米空軍特殊作戦機CV22、オスプレイ5機配備、2024年には10機になる予定。
- * 木更津駐屯地へのMV-22オスプレイ17機暫定配備に加え、同駐屯地にはヘリコプター団が所属し、大型ヘリCH-47配備、沖縄海兵隊のオスプレイ定期整備基地にもなっている。
- * 習志野駐屯地には日本で唯一落下傘部隊がありオスプレイ搭乗が予想される。
- * 日本飛行機（NIPPON）は米海軍厚木基地（神奈川県大和、綾瀬両市）に隣接する工場がある。米海兵隊・米海軍のオスプレイの新たな整備拠点に米海軍厚木基地を使用する見通し。今年7月からのオスプレイの定期整備をSUBARU（スバル）と日本飛行機（NIPPON）の2社が受注したと米海軍が明らかにしたことで判明した。

そうした中でも、日本各地にある米軍基地や自衛隊駐屯地での地元住民によるオスプレイ受け入れに反対する抗議行動は拡がりを見せ、佐賀県では大規模な抗議行動により地元との合意には至らなかった。

改めてオスプレイの危険性、馬毛島FCLP基地建設、辺野古埋め立て等の沖縄基地問題、日米安全保障の下で米軍の要求に次々と応える日本の安全保障は守られるどころかじわじわと危険に晒されている。オスプレイがいすみ市上空にも飛ぶことは、私たちの身近な問題として危機感を持つ。

川島 る美